

リニア中央新幹線事業に係る関係市町村長とJR東海との意見交換会 概要

建設部リニア整備推進局

1 日 時 令和7年1月22日(水) 14:30~16:30

2 場 所 飯田合同庁舎 3階講堂

3 出席者

- <市 町 村 等> 飯田市、下伊那郡 13 町村、中川村、南木曾町、南信州広域連合
- <長 野 県> 建設部リニア整備推進局長、南信州地域振興局長、
飯田建設事務所長兼リニア整備推進事務所長
- <J R 東 海> 宇野 護 副会長、澤田 尚夫 本部長 他 5 名
- <鉄道・運輸機構> 関東甲信工務局次長

4 冒頭挨拶

【リニア整備推進局長】

- ・本意見交換会は平成 28 年度から開催。公開での開催は初めて。本日に至るまでに関係する皆様方にご理解とご協力をいただいたことを重ねてお礼申し上げます。
- ・リニア中央新幹線の県内工事は、順次、目に見える形で進行。一方、昨年 3 月に開業時期の延期が公表され、その後、県内工区においても順次工期の見直しの説明が行われてきている状況であり、大変残念。
- ・そうした中で本日の意見交換では事業進捗に伴う喫緊の課題について、①地域の信頼、住民理解の確保、コミュニケーション、②工事の安全確保、車両の安全運行、③発生土、要対策土、④環境への影響回避、低減を議題とさせていただきたい。そして最後の議題として、開業時期の延期に伴う地域としての中長期的な対応を含めて、⑤地域振興、観光振興、地域貢献を議題とさせていただいた。県としても、リニア県駅（仮称）を核とした地域振興の取り組みを今後も積極的に進めてまいりたいと考えているので、JR 東海の皆様にもぜひご協力をいただきたい。

【南信州広域連合長（飯田市長）】

- ・リニア中央新幹線という大規模事業、この地域はもとより国全体のあり方、日本経済のあり方に大きな影響を及ぼす、良い意味での大きな可能性を秘めた大規模事業を事業主体として取り組む JR 東海には心から敬意を表したい。
- ・一方、地域住民の声を代弁代表する私どもとしては、厳しいことも申し上げなければいけない。昨年 3 月の静岡工区モニタリング会議の席上において、2027 年の開業断念が改めて示された上で、静岡工区の着工から少なくとも 10 年はかかる、開業時期については見通せないという発表、説明があった。このことは私どもあるいは住民の皆さんにとっては非常に落胆をする衝撃的なニュースであった。特に移転を余儀なくされた皆様、地権者の皆様にとっては、あんなに急かされて移転をしたのに、あるいは自分も乗れるつもりでいたのに、今から 10 年先ではといったような声、怒りともあきらめとも表現できるようなそんな声が、私どものところにも届いている。
- ・県内工事の説明会においても、それぞれの工区の工期について、当初の工期から 5 年程度延長するということが説明された。工期の延長は住民の皆さんに負担をかける期間が長くなるということを意味する。
- ・県内工区の工事については、住民の皆さんの理解としては、静岡工区と直接関係がないと思っているので、そういった意味で今回延長されたことについても疑問を持っている方が多い。県内工区についてはそういった意味も含めて、新たに示された工期はぜひ厳守をいただかないといけない。

- ・開業時期が見通せないことにより民間投資の誘導や移住・定住策の取り組み、あるいはまちづくり、こういったことに大きな影響を及ぼしている。私どもとしては開業時期について早くお示しいただきたい。早期開業を、全線開通をお願いしたいということで改めて強く要望を申し上げたい。
- ・他地域において地盤沈下、濁水、水位低下といったようなニュースが出ており、住民の皆様には不安を与えている。工事車両の通行に伴う交通影響、環境影響も含め、そういった心配、不安の声に対して丁寧な説明、情報公開を改めてお願いしたい。
- ・リニア事業に対して大変期待をしている。そういった期待に対してぜひ応えていただきたく、今日はいろいろな率直なご意見を申し上げたい。各市町村長からは住民の声を踏まえた切実な意見、要望を申し上げますので、真摯に受け止めていただき、その姿勢を答弁、あるいはその後の行動にしっかり表していただくようお願いする。

【JR東海副会長】

- ・今日、意見交換をさせていただきそれを今後のプロジェクト推進に活かしてまいりたい。
- ・中央新幹線計画は、各地で皆様方の協力を頂きながら鋭意工事を進めている。そのような中、品川―名古屋間の開業時期について一昨年の12月に工事実施計画において、工事完了予定時期を2027年以降ということにさせていただき、認可をいただいた。そして、昨年の3月に国で設定いただいている静岡工区のモニタリング会議の中で、いわゆる事業計画について改めて示すよう話をいただいたことを受け、静岡工区について工事契約締結から既に6年4カ月が経過し、契約当初には、着手から開業までに10年を要すると考えていた静岡工区が開業の遅れに直結していること、そして2027年の名古屋までの開業は実現できない旨ご説明をさせていただいた。
- ・長野県内の各工区についても、工事内容を改めて精査した結果、工期変更せざるを得ない工区があり、昨年6月から県内各所でご説明をさせていただいてきた。いずれの工区の遅れについても、静岡工区の遅れの範囲内であり開業時期に影響を与えるものではないが、早期開業、早期の工事完了をご期待いただいている皆様方、地域の皆様方には、大変ご心配をおかけしている。
- ・引き続き早期の完成を目指して全力で取り組み、地域の皆様方とのコミュニケーションを大切に、真摯に今後も取り組んでまいりたい。
- ・要対策土について地域の皆様にご安心いただけるように国のマニュアルや専門家の助言を踏まえ、安全性をしっかりと確認をした上で可能な限り活用させていただく方針。活用に当たり、地域の皆様に安全性などについて丁寧に説明をしてまいる。
- ・地域振興について長野県駅（仮称）を含めたリニアの中間駅は、国の方でリニア開業に伴う新たな圏域形成に関する関係府省等会議が設けられ、この中で新たな広域の中核地方圏の形成に向けた拠点としてこの長野県駅（仮称）も位置づけられており、中央新幹線沿線が活性化されて魅力的になるということが期待されている。鉄道事業者として皆様のお話を伺いながら協力して取り組んでまいりたい。
- ・工事の安全、環境の保全、地域の皆様との連携を重視して早期の開業を目指して全力で今後も取り組んでまいる。引き続きのご支援、ご協力をぜひよろしくお願い申し上げます。

5 工事の状況説明

○JR東海から長野県内の工事進捗状況等について説明。

6 意見交換内容（概要）

①地域の信頼、住民理解の確保、コミュニケーション

【飯田市長】

- ・住民の皆さんは1日も早い工事の終了と、工事の進捗や工事に伴って発生するいろんな不安や心配の声に対して、丁寧に説明をしてほしいと思っている。引き続き地元の関係者あるいは関係地区に対し迅速で丁寧な誠意を持った説明をお願いしたい。
- ・工期が再度延長となると信頼関係に大きなひびが入ってしまう。県内工区の工事期間については示された新たな工期を厳守していただきたい。
- ・新たな開業時期の目途がつくことで、企業や移住を考える方々へのお話、まちづくりのスケジュールなどに影響があるので、何らかの形で時期についても早くお示しをいただきたい。

【南木曾町長】

- ・今後ともJR東海、事業者、地域、町で連携し、連絡を取り合いながら安全な工事をお願いしたい。
- ・南木曾町では水源地の下付近、近くを通る工事箇所が何箇所もあるため、慎重に工事を進めていただきたい。また何かあったときは早急な対応をお願いしたい。
- ・事前に町や地域の方にしっかりと情報提供し、皆さんが理解される中で工事を進めていただきたい。
- ・発生土の運搬先についてどこへ持っていくか、時期、運搬方法などについて、町や地域の方へ事前にしっかりと周知して理解をいただく中で進めていただきたい。

【喬木村長】

- ・対策委員会や協議会が何度か開かれているが、非公開部分が多いので、原則公開をお願いしたい。三遠南信自動車の協議会や対策委員会の方では原則非公開ということは一切無く公開でされている。多くの皆様に情報をいち早くお知らせをすることによって、お互いの理解や信頼関係も生まれると思う。
- ・現在の工事状況や、こんなことでご迷惑をお掛けしている、というような声掛けをして、地域の信頼を築き上げていくような環境を作っていただきたい。

【中川村長】

- ・小和田地区の土地基盤整備事業の着手など発生土活用事業に協力いただき感謝申し上げます。
- ・一方で期間が延びることに対する不安がある。より細かい対応を各地でお願いしたい。場合によってはそれぞれ特有の問題があるので、その地域の皆さんにぜひ寄り添った対応をお願いしたい。
- ・運搬に当たっては振動や粉塵などについて、今後とも特に注意をいただきたい。

【阿智村長】

- ・工事が徐々に始まり住民への丁寧な説明に感謝申し上げます。
- ・文化祭にも来ていただいたり、工事状況等のお話をいただいたり、子供たちに交通安全のことをやっていただいた。そういった活動により、住民の皆様のご理解をいただいた。顔の見える関係というのが大事だと思っているので、引き続きお願いしたい。
- ・リニア工事が安全であるというPRも、しっかりやっていただきたい。

【JR東海 澤田本部長】

- ・工事を進めていくに当たり市町村の皆様、地域の皆様の信頼を得て進めていくことが最も重要であると認識。
- ・工事が延びることは、地域の皆様にご心配をおかけしたり、影響を与える期間が延びることになるので、そのような方々が大勢いることをしっかり肝に銘じて、見直した工期の中でしっかり工事をやっていくことで努めてまいります。

- ・私どもも1日も早く工事を完成させたいと思っており、地域の皆様にご説明している工期についてはしっかり守っていく所存。
- ・工事状況は、引き続きしっかりと情報提供しながら進め、地域の皆様のご心配、ご不安が少しでも解消できるように努めてまいります。
- ・開業時期が見通せないことについて、静岡工区のトンネルの工事の着手、この目途が立った時点で一定程度の開業時期をお話させていただきたい。ただ、南アルプストンネルは非常に長い区間であるから、一旦着手時点で見通しを話した上で、工事の進捗に合わせてしっかりと情報提供しながら、開業時期それから工事の終了時期というのを皆様方にお話をしていくことになると思う。
- ・南木曾町の水源保全地区に指定されている地域にこれから入っていく。水資源に関わるモニタリング状況については、引き続き町の対策協議会等でしっかりと情報提供させていただく。それから万が一ということで、あらかじめ代替措置もとらせていただいているので、そういった運用に当たっても引き続き調整をしっかりさせていただきたい。
- ・情報公開のありかたで、しっかりと情報提供をさせていただくよう努める。ただ、情報公開といっても、場面、やり方があると思うので、前もって公開方法について、手順を踏んだり、あるいはこういった場面でやっていくか相談をしながら進めていきたい。
- ・発生土処理という大きな課題の解決に向けては、地域の方のお役に立つような形が非常に望ましいと思うので、その点については引き続きしっかり取り組んでいきたい。
- ・中川村のダンプカーの運行に関わる時間帯や台数について、対策協議会で説明をしてきているところだが、もう少し地域に合った情報提供をどのようにしていくか、村の方とご相談しながら地域の皆様方のご不安を解消できるよう進めていきたい。
- ・安全のPRについて、コミュニケーションの一環として様々な取組みをさせていただいている。工事車両を使った安全教室、各地区のお祭りに参加させて頂いてリニア事業のPRなど、少しでも社員の顔を覚えて頂くことがコミュニケーションをしっかりやっていくことに繋がると思っている。説明会や対策委員会などいろんな形でご説明させていただくのはもちろん、地域のイベントなどにも積極的に参加して、少しでも住民の信頼を得ることに繋がれば良いと考えている。引き続きよろしくお願ひしたい。

②工事の安全確保、車両の安全運行

【飯田市長】

- ・工事の安全確保、車両の安全運行が項目に上がってくることは、そういう不安の声が住民の皆さんの中にもあるということを理解していただきたい。
- ・これまでも工事関係車両の交通事故がたまにあり、これから工事用車両が増えていくことになれば、少なくとも確率論的には交通事故の回数も増える可能性がある。ぜひ交通安全、工事の安全については、引き続き最善の注意をお願いしたい。
- ・工事車両の増加、工事に伴う交通規制による渋滞など住民の皆さんにとってはいろんな影響がある。そういったことも含めて、歩行者及び一般車の通行について影響が出ないような配慮をお願いしたい。
- ・交通事故、工事中の事故についても発表の仕方に記者会見やプレスリリース、ホームページなどバリエーションはあるが原則公開する、お知らせするという考え方で対応をお願いしたい。

【大鹿村長】

- ・発生土をたくさんダンプカーで運ぶという話が出たとき、通行道路の幅員が狭くて危ないということで、JR東海にはトンネルを開けていただいたり、拡幅工事をしていただいたりして、良い道を作ってください大変感謝申し上げます。

- ・サイクリストの皆さんとダンプカーの運転手の皆さんとの交流会を開くなど、交通安全に対して大変ご協力いただき感謝申し上げます。
- ・昨年9月、10月と2ヶ月連続で工事用車両が道路下の河川に転落するという事故が発生した。道路のハード面での安全対策も大事だが、車両を運転される運転手の皆さんの精神面でのケアであるとか労働条件の内容の見直しであるとか様々な形で再発防止についてはご配慮いただきたい。

【JR東海 澤田本部長】

- ・工事車両の運行に関わる安全確保は住民の皆様のご生活にも直結するため、しっかりと気を遣って、肝に銘じて皆様方にご心配をおかけしないように努めてまいりたい。
- ・実際に交通事故を発生させてしまっており、ご心配をおかけしている。再発防止は周知徹底をしており、引き続きしっかりと取り組んでまいりたい。
- ・ハード面の方ではダンプカーにGPSの機能を使ってシステムを構築して危険箇所を案内するとか、注意箇所のマップを作って注意箇所をしっかりと周知するなどの取り組みを行っており、引き続き取り組んでまいりたい。
- ・運転手のケアという点では、いろいろな形でしっかりと精神面や健康面もケアできるよう、点呼や日々の打ち合わせの中で周知、把握できるよう引き続き努めてまいりたい。

③発生土、要対策土

【飯田市長】

- ・要対策土について健康影響、環境影響が無いのが大前提。駅の近くの橋梁について活用が検討されているが、今後長野県から提出される環境保全措置に対する助言を真摯に受けとめて誠実に対応していただきたい。
- ・発生土については、関係者に対して引き続き丁寧な説明と盛土後の維持管理についても、将来にわたって安心できる対策、対応をお願いしたい。

【豊丘村長】

- ・様々な道が発生土を使って改良され大変にありがたい。
- ・豊丘村は早いうちから順調に工事が進んでおり、それは区の皆様が積極的に協力してくれたことにある。そこで採算性はある程度外視しても区の皆様の要望にはできる限り応えていただきたい。

【大鹿村長】

- ・要対策土の活用については住民の皆様から心配される声もあり、丁寧な説明、県からなどの助言等についてしっかりと対応していただきたい。実際に施工していく際にはしっかりと安全確実な施工をやっていただき、適切に対応していただく中で、安全性、信頼性をしっかりと証明をしていただきたい。
- ・要対策土の物質や産業廃棄物等々を無害化してそれを建設材料等に活用する技術もいろいろと進んできており、そういった技術の導入についても積極的に取り組み、研究をしていただく中で、要対策土の有効活用を図っていく、そういった姿勢方針を示していただきたい。

【JR東海 澤田本部長】

- ・発生土について土曾川橋梁の橋脚基礎の中に中詰め材として要対策土を活用することを考えており、その点について地域の方からご心配の声が出ていることは承知している。この活用方法については、社内専門家の方にご検討いただいて安全性を確認している。その結果を持って、地域の方にご説明をさせ

ていただきご理解を深めて頂いた上で、環境影響の保全計画書に土曾川橋梁における要対策土の活用についても記載をし、県の環境影響評価技術委員会で審議を頂いて、県からの助言をお待ちしている所である。今後県からの助言内容をしっかり真摯に受け止め、対策をしていく。具体化していく場面では、きちんと住民の方にもご説明しながら進めていきたい。

- 要対策土の不溶化という、これまでの封じ込めとは違う取り組みを試験も含めて行ってきており、大鹿村の方にご理解いただいていることに非常に感謝申し上げます。こちらについてはリニア用の変電所の造成の材料として使うべく検討しており、色々な方たちで説明させていただいているが、実行の場面の際はしっかりと説明してまいります。
- 新規の技術について、環境に係る技術はいろいろなところで取り入れられているので、リニア工事でも取り入れられる所では積極的に取り入れるなど、いろいろなことを探りながらやっていきたい。
- 豊丘村については非常に早い時期から大規模な発生土置き場が実現しありがたい。これが実現するまでに地域の方、地区の方がいろいろなご苦勞をさせていただいたことは十分認識している。これまでどおりしっかりコミュニケーションを取らせていただき、何を御要望されているのかしっかりとお話を伺いながら、お応えできることがあるのかないのか、考えながらやっていきたい。

④環境への影響回避、低減

【飯田市長】

- 環境影響については騒音、振動、水資源への影響、地盤沈下や日照問題など多岐にわたる。こういったことについて事前、事後の調査や将来のモニタリングも計画をさせていただいており、こういったことをしっかりやっていただくのが大事。
- 万が一異常が確認された場合には、速やかな情報公開、情報提供していただくことが非常に重要。
- 騒音等避けがたい部分があるかと思うが、関係の住民の皆様については引き続き丁寧な説明と実際の具体的な対策、対応というのをお願いしたい。
- 環境に対する前向きな取り組みとしての駅舎への太陽光パネルの設置、再生可能エネルギーへの取り組みだとか、あるいは駅のデザインや仕様についても、木材を使って信州らしさを演出するような、そういう環境景観に対しての取り組み、前向きな取り組みもお願いしたい。

【高森町長】

- 高森町のガイドウェイヤードでセアカゴケグモが発見された。まずそれを発見しきちんとご報告いただき、その後の対応も含め感謝を申し上げます。
- 情報をどう公開していくか、非常に重要だと思うので、今後とも何かあればそういった対応をお願いしたい。愛知県の飛鳥埠頭ではヒアリが確認されていて、飛鳥の方からコンテナが運ばれてきているため、搬入時もしくは搬出時にきちんと防除をしていただくことをこれからもお願いしたい。

【下條村長】

- 村民の方からは今のところ工事をやっていて苦情は無い。現在工事が行われているところは日陰が多く、従来だと凍結していたところ、工事の実施により工事関係者が悪路をある程度改善してくれたため、非常に喜んでいると役場に連絡が入っている。
- 環境影響評価の手続きに沿うと情報公開の間隔が長いように感じている。安全性だとか情報を求められる可能性があるので短い間隔での情報提供をご検討いただきたい。
- 騒音、振動、粉塵などについても常に情報提供をしていただきたい。

【JR東海 澤田本部長】

- 環境影響評価のなかで、モニタリングや事後調査という位置づけで、騒音振動、水質など定期的に測定をしており、その結果は毎年取りまとめ関係市町村へのご報告やホームページに公表している。
- 原則環境影響に係る調査結果は1年ごとに取りまとめているが、年1回にこだわっているわけではない。そこは皆様方がご安心していただけることに繋がれば、やり方は考えていきたいので、具体的なご相談ができればと思う。
- 万が一異常値が出た場合、速やかに対策を打ち、関係各所にご報告して対応も含めてお話ししていく。速報できるように引き続き努めてまいりたい。
- 環境の観点から前向きな取り組みとして、例えば太陽光パネルについて、どのような場所にどのようなものを設置できるかという具体的な話をこれからしっかりさせていただきたい。
- セアカゴケグモについては、本当にご心配をおかけした。危険な外来種ということで速やかに駆除し、駆除対策を専門家にも相談しながら進め、高森町のヤードにはいないと専門家に評価いただいた。引き続き、再発防止策にはしっかり取り組んでまいりたい。
- ヒアリが当社の飛鳥ヤードで見つかった事例はないが、セアカゴケグモと同様、外来種を運び込まないよう、これまで実施してきた対策を引き続きしっかりと継続して対応してまいりたい。

⑤地域振興、観光振興、地域貢献

【南木曾町長】

- この事業が地域に計画を示されて相当の時間がたってきた中で、対策協議会の開催や協力をいただきご苦労をお掛けしている。本格的に工事が進み、これからはしばらくの時間が必要となる中で、地域の皆様に工事への理解を深めていただくための一つの考え方として、工事に必要な箇所のみならず、目に見える形で地域振興をお願いしたい。ときには採算性を度外視して、地域にとってもやってよかったと、そんな工事になるように地域貢献を強くお願いしたい。

【中川村長】

- 中川村はちょうど上伊那や伊那市など北部の方へ繋がる中間地点に位置していることもあり、この計画の開業に期待している。
- 土地改良事業については計画内で完了し、耕作を希望する要望もあり、工事の進捗には差があると思うが、地域の期待も大きいので、計画内での工事完了をお願いしたい。

【松川町長】

- 日頃は綿密な連携をとっていただき前河原道路、福与河原土地改良が進み感謝申し上げます。
- 在来線の飯田線は、高校生などの通学手段として必要不可欠な路線。地域公共交通においてはコミュニティバスやデマンド交通などの取り組みをしているが、これらが接続する飯田線の維持向上がないと地域における公共のポジションや、住民の皆様の飯田線に対する印象が向上しない。少子化により利用が減少していくため、今から観光路線としての取り組みを強化し、地域での存在感を高めることで路線の維持をお願いしたい。
- 伊那大島駅は重要な拠点の施設として活用を考えている。本年度、松川町の中学校3年生に検討いただき、飯田線の駅長にも話を聞いていただいた。ぜひこの駅舎を活用した取り組みを進めていく際には強力なご支援、サポートをいただきたい。
- 開業が10年延びた中で、この先10年も今と同じ動きをしていていいのか不安と焦りを感じる。長野駅などではインバウンド客の賑わいを感じられるが、飯田下伊那では感じられない。バス路線が減便さ

れる中で、マイカーでなければ行けない地域になるのではないかと不安を感じる。その中で、例えば現在の新幹線豊橋駅からこの飯田線に入るために特急のダイヤを改善し、一本でも多く特急で入るような対応や、JR東海のバスで中津川市と結んでいた「いいなかライナー」を復活していただき広域での都市間交通の維持をこの10年間お願いしたい。

【高森町長】

- JR東日本が地方創生の取り組みをすごく盛んにやられていて、オンラインショップやふるさと納税などをJRE（JRE MALL等）というサイトの中でやっている。開業が10年先に延びたので沿線自治体のいろいろな特産品や何かをJR東海のサイトなどで販売し、それに対してポイント制度などを設けて在来線に乗りやすくするとか、そういう環境の変化を少しつけていった方がいいのではないかと。
- 例えば、新幹線の停まる場所など、人が集まる場所でいろいろなPRをするのに、高額なことを言わずにできれば無料で貸していただくとか、PRを私達はやらなければいけないので、そういった面でご協力をいただけると非常にありがたいので、ご検討いただきたい。

【阿智村長】

- 今までJR東海ツアーがいろいろな企画をしていただいているが、南信州観光公社と連携し、電車やバスを使って来ていただくことを具体的に進めていただくとありがたい。
- 中津川駅から飯田線まで繋ぐバス出していただくと、観光客にとっても良いことなので、リニアが開通する前にもそういった措置ができると非常に良いと思う。ご検討いただきたい。
- 現に昼神温泉ではJR東日本と提携し、諏訪から直行のバスをそのダイヤに合わせて運行している。お客様の目線に合わせた取組を行うことが大事であり、特に外国人のお客様は公共交通機関を利用されるため、そういったこともお願いしたい。
- 観光だけではなく、地域振興も含めて利用客が増えることが重要だと思うので、JR東海から、もっとこんな取組をしてはどうかという提案をいただければありがたい。
- 工事に地元の企業をいろいろな面で使っていただくと大変ありがたく、その点は十分考慮いただいていると思うが、さらに使っていただくことで経済発展に寄与することをお願いしたい。

【下條村長】

- 高速道路だけではなく電車を利用した観光も広げていきたいと考えており、JR東海には協力のみならず、一緒にさらに深く関わっていただき、アイデアを出し合ってこの地域を盛り上げることをお願いしたい。
- 関係市町村だけではなく周辺市町村もあるので、全体を含んだ中での地域振興に繋がるような関わりをぜひ一つ持っていただきたい。お互いに何かこの地域振興になるように積極的に参加または一緒に作り出していただくようお願いしたい。

【喬木村長】

- 堰下ガイドウェイヤードの跡地利用について具体的計画を住民に示す必要がある。県内工事が延びたことでガイドウェイヤードの借地期間が伸びると覚悟しているが、具体的にいつになったら自由に使えるのかが分からない状況では、なかなか動き出せないため、できるだけ早くその時期をお知らせいただきたい。
- この地域を訪れる方が増えることがJR東海にとってもこの地域にとっても大変重要なこと。この地域全体繁栄を考える上で、今後の後利用をしっかりと考えていきたい。

【大鹿村長】

- 産業振興や地域貢献等においては観光事業に積極的にご協力いただいている。例えばウォーキングイベントやサイクリングイベント、愛知県内での PR 活動などが挙げられる。また、森林造成事業等にも多大なるご尽力をいただき、さらに商業や観光振興等に向けた協議会の立ち上げにもご協力をいただき感謝申し上げます。
- JR東海には旅客や観光などの専門的なセクションがあり、今後はそういった皆さんとお互いに協力しながら、この地域や産業を盛り立てていく関係を築いていきたい。

【飯田市長】

- 県からも、飯田市からもJR東海の本社機能の一部移転ということを言っており、これは機能を分散する意味合いだけでなく、例えば沿線地域のバックアップ、震災の被害に対してバックアップオフィスを内陸部に設けるということも含めての提案。
- リニアの企画自体が東海道新幹線に何かあったときの二重系化ということで、内陸部にリニアというお話でもあるので、そういうバックアップ的なものを沿線地域に置くことは趣旨からして決しておかしいことではないと思っている。そういった意味で本社機能の一部移転、バックアップオフィスといったことをぜひ積極的にご検討いただきたい。
- いろいろなご協力をいただくこともありがたいが、協力者ということではなくてJR東海も我々の地域振興についてぜひ1プレイヤーとして、姿の見える形で活躍をいただきたい。

【JR東海 澤田本部長】

- 南木曾町長からもっと積極的にという話について、リニアの建設主体また運営主体でもあるため、工事期間中それから開業後も引続き地域の皆様とお付き合いをしていきたい。また、JR東海はリニアだけではなく、東海道新幹線や飯田線を含む在来線も運営する会社。これらを活用しながら地域の皆様と、鉄道事業者として何ができるかしっかりと考えていきたい。
- 中川村長から土地改良への発生土利用について、地域としては期待されているとのことで、お応えすべく工事を着実に進めていくように努めてまいりたい。
- 松川町長から飯田線の利用増加やイメージアップ、特にインバウンドも含めたお客様の増加について、多くの意見をいただいた。ダイヤはお客様の需要の動向を見極めながらつくっていくことになるが、これらの意見は参考に考えていきたい。
- 伊那大島駅の活用を検討されていることについて、具体化に向けては前向きにお話を伺っていきたい。
- 高森町長からPRという観点でいろいろなアイデアについて、PRができていないのかもしれないが、当社も「いいもの探訪」という地域の特産品・名産品を販売できるようなサイトや、JR東海の駅ビルやデパートの一部利用して地域のPRをしていただくことも取り組んでいるが、まだ不十分だという指摘であると思うので、これまでの取り組みをしっかりとやっていくこと、新たなアイデアを出すことにも取り組んでいきたい。
- 阿智村長からJR東海の鉄道や旅行会社のネットワークを活用した集客力のアップについて、これまでいくつかの旅行商品を一緒に展開してきたが、今後も引き続き、そういった形で何かできないかしっかりと考えてまいりたい。
- 下條村長から飯田線を活用して下條村への訪問者を増やすための取り組みについて、旅行商品や運営の仕方などしっかりと考えていきたい。
- 喬木村長からガイドウェイードをお借りしてしており、感謝申し上げます。一方で期間について心配をか

け申し訳ない。土木工事の延長に伴い、ガイドウェイの設置はその後になるため、借地期間の延長の話し合いをさせていただきたい。地域のご事情もあるため、私どもの考えをお伝えしつつ、町村のお考えも伺いながら、打ち合わせをしたい。

- 大鹿村長から観光面でのご協力について、昨年立ち上がった協議会に参加したが、引き続き村や商工会の皆様のご意見を伺いながら、どのようなご協力ができるのか確認しつつ進めてまいりたい。
- 飯田市長から本社機能の一部移転の話について、飯田に駅ができ、保守基地も作ることを考えており、そういった施設に従事する社員は当然働くが、本社がどうなるかに関しては、現時点で本社移転を含め今のところ検討をしていない。そういったご意見があることを念頭に置きながらコミュニケーションをとっていききたい。

○その他

【阿南町副町長】

- 下條村への発生土の搬入が本格化すると、国道 151 号を利用することになるが、当町から飯田市方面への通勤、通学、通院、流通、救急での搬送などにとって大変重要な路線。この路線を安全、安心して通行できるようにするとともに、本格的になってきたらいろいろな面で情報提供をしていただきたい。

【平谷村長】

- リニアという言葉が、この小さな地域にとっては人口の流出、あるいはそういった意味での防護策になっていることを頭に留めていただきたい。
- リニアが開通したらこの地域は化けるぞと、もたらされる効果は大きいと期待。住民に対してもJR東海の夢を一緒に持っていきたいと考えている。それから万が一何か起きた際も希望のある言葉、希望のある報道をしていただきたい。安全第一に早期開通ができるようお願いする。

【根羽村長】

- 現工事区間の早期完了をお願いするとともに、静岡工区の目処が早く早期につきますよう積極的な動きをお願いしたい。
- 年に 1 回程度でも結構だが別の会議でもぜひそういった工事の進捗状況について、可能な限りお示しいただきたい。
- 地域振興についてJR東海には積極的にお願ひしたく、我々の方でも様々な具体的な要望を出すのでこれからもご支援をお願いしたい。

【売木村長】

- よく村の皆さんに言うのは、まるっきり変わるぞと、それにはこの小さな村を維持しておくことが一番大事で、それには村に人がおることだと言っている。それには早く開通していただかないとだんだん村の人口も減っていくので早期開通に向けて頑張ってください。

【天龍村副村長】

- リニア開通の暁には、飯田線との接続など地域にリニアが波及していくような仕組みを検討していただくとともに、天龍村を含む飯伊地区と協力した地域振興についても取り組んでいただきたい。

【泰阜村長】

- 早期開業とその開業時期を可能な限り早期にお示ししていただきたい。

- このリニアの沿線をどういふうに発展させるかは当然我々首長の範疇であるが、JR東海にも一歩踏み込んで一緒に考えていただきたい。
- この地域はサイクリングロードを考えたりもしており、飯田線が自転車を載せることができないので、自転車が載るような電車を走らせていただくとこの地域の発展に大変寄与していただけると思うので前向きにご検討いただきたい。

【JR東海 澤田本部長】

- 早期開業について、地域で非常に開業を期待されているお話もあり、非常に嬉しく思う反面、責任を感じて進めていかなければならないと思いを新たに。「一緒に」という言葉をいただけてありがたいと思う。
- 開業時期について、いつを目指しますということになるべく早く皆様方にご案内できるように、他県での協議などもしっかり進めていく。
- 飯田線の活用を含めた地域振興について、鉄道事業者として地域の方に喜んでいただき安心していただくよう、取り組んでいきたい。具体的な話を伺いながらできることに取り組んでいきたい。
- 情報提供についてどのような提供の仕方がいいか、よくご相談させていただきながら進めていきたい。

【豊丘村長】

- これだけの大きなプロジェクトになると大手のデベロッパーみたいなものとも組みながら考えた方が効率的で、多分知恵も出て、お金も出てくる、そういう流れもある。
- JR東海もいろんな形で関わっているので、何か地域おこしについても知見からお金からいろんなものを出してもらいながら、一緒に考えて、一緒にこの地域の発展に一肌脱いでいただけるとありがたい。

【JR東海 澤田本部長】

- デベロッパーとは少し違うかもしれないが、事業を開発する部門がある。鉄道会社のため、駅を拠点として事業を広げてきたのが主であるが、私どものノウハウが地域の要望されているものとマッチするのかもしれない、まずはいろいろなコミュニケーションを図ることはやぶさかではないと思う。社内にもいろんな部署があるのでそういったところへ紹介も念頭に置きながらお付き合いをさせていただきたい。

以上